



## 生活の中に芸術の香りを提供する

■ 県立美術館分館ミュージアムショップ  
 昨年十月、落成した県立美術館分館の見所の一つが、「ミュージアムショップ」です。美術品をモチーフにした商品や、美術館に併設された店舗のことで、海外ではメトロポリタン美術館、ルーブル美術館などのショップが有名です。日本では平成二年に東京国立博物館内にオープンしています。

当ショップでは、有名絵画のレプリカやアクセサリー、絵はがき、置物などを販売。中でも、絵はがきは九州一の品数揃えということもあって、とても人気を博しています。また、美術専門誌などもバックナンバーを揃えて愛好者の要望にこたえられるようにしてあります。また、開設から日が浅いため、オリジナルグッズとしては、県立美術館収蔵の今西コレクションや細川コレクションの図録と絵はがき、アートポリス関連の商品だけが扱っていませんが、今後、いろいろなカタログ等の販売を手掛けていく準備が進められています。

「芸術品を生活の中でもっと気軽に鑑賞し、楽しみたい」という美術愛好者が増えています。当ショップは、その要望に応えるとともに、熊本県の美術文化の情報発信にも貢献していくことと思われれます。なお、分館四階には、熊本城を眺望する素敵な喫茶店もオープンしています。散歩のついでに立ち寄ってはいかがでしょうか。



利用のご案内

- 開館時間  
 火曜～金曜  
 午前9時30分～午後6時30分(入場は午後6時まで)  
 土曜・日曜・祝日等  
 午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜  
 (ただし、月曜が祝日等の場合は火曜が休館)
- 交通機関 市電、バスとも熊本市役所前下車、徒歩3分
- お問い合わせ  
 熊本県立美術館分館 096-351-8411  
 ミュージアムショップ 096-322-8816  
 ミュース(喫茶店) 096-326-3588



## 小さな和がいつしか 大きな輪になつて

熊本県が韓国忠清南道と姉妹提携してから、今年で満十周年を迎えました。もちろんそれまでも民間による交流は行なわれていたが、県と道との姉妹提携で、より交流に弾みがついたと言つてよいでしょう。大学間の交流については、二月号で紹介しましたが、今回は、自治体、高等学校、民間交流団体による、これまでの交流の歴史を簡単に振り返ってみたいと思います。



忠清南道からの研修生 史南一(サーナムイル)さん



第9回少年の翼 大田でのホームステイを終えて



公州市から菊水町への訪問団 永明高校生による扇の舞

● 職員のパ遣

本県職員の道庁派遣は、県道間の特筆すべき交流と言えます。これは平成元年度から行なわれており、この三月、三人目の職員が一年の任期を終えて帰熊しました。韓国語の修得や人的ネットワークづくりは、相互理解に計り知れない効果を与えています。また、忠清南道からもこれまで十五人の職員が県に派遣されています。

● 文化交流

菊水町と公州市にある古墳からは極めて類似した出土品が見つかっており、



第8回日韓親善スポーツ交流 鎮西高校対鳥致学院戦  
写真提供/熊本日日新聞社

文化的なつながりを証明するものと言われています。これが縁となって姉妹提携を結び、相互訪問が続いています。

● 青少年交流  
 数多くの若者が、修学旅行や熊本県「少年の翼」などの事業を通して、韓国の青少年と交流し、理解を深めています。

● スポーツ交流  
 県道が毎年交互に高校生スポーツ交流団を派遣し、陸上競技や球技など技術向上と友好交流を深めています。

● その他の民間の動き  
 昨年創立三十周年を迎えた「熊本県日韓親善協会」は、忠清南道・大田直轄市韓日親善協会と姉妹提携による相互交流や、主として教職員を対象とした「ハングル研修の旅」を実施しています。「熊本むくげの会」は、十七年に渡り、毎月欠かさことなく例会を実施しています。また、県道の「4Hクラブ」は相互訪問による農業研修を実施するなど民間による交流も活発に行なっています。

なお、県では十周年の節目に当たる今年、記念事業を実施すべく、忠清南道とともに準備を進めています。



「熊本県日韓親善協会」91ハングルの旅



第198回例会「熊本むくげの会」



熊本県4Hクラブ 農業研修で訪韓